

## 京都丹波高原国定公園の概要

京都府の中央部、京都市、綾部市、南丹市、京丹波町にまたがる 68,851ha に及ぶ広大な区域が平成 28 年 3 月 25 日に国定公園として指定されました。

「芦生の森」と呼ばれる原生的な自然や希少な動植物を有しているだけでなく、「かやぶき屋根」といった特徴的な民家がある集落が共存しており、自然と寄り添う暮らしと伝統文化を長く世代を継いできた歴史を感じることができるのが特徴です。

また、京都の市街地に近接するため、日本海と都を結ぶ多くの街道が通る地域でもあり、まさしく自然と文化が融合したユニークな国定公園となっています。



京都丹波高原国定公園ビジターセンター  
Kyoto Tamba Kougen Quasi-National Park Visitor Center

T:0771-75-9020 F:0771-75-9040 Email:info@kyototamba-vc.com  
京都府南丹市美山町安掛下 23 〒601-0722

協力 平屋振興会・京都府里の公共員・光瑞寺・内久保環境 史跡保存会  
© KYOTO NO MORI NO ANNAIJO All Rights Reserved.

## 南丹市 美山町のおはなし

美山町は京都府のほぼ中央に位置し、南丹市の北東、京都市内から車で約1時間の場所に位置します。そこには豊かな自然と暮らしが織りなす日本の農山村の原風景が残っています。自然と人がつくりだしたこの景色を「日本の原風景」「昔話のあの景色」とよばれています。

美山町は、かやぶきの里に代表される日本の農山村の原風景と豊かな自然が息づく町として知られ、美山町東部に位置する三国岳(959m)山麓の由良川源流域の芦生の森「京都大学芦生研究林」の広大な自然林に囲まれています。美山町の面積の 96%が森林に覆われています。由良川とその支流に沿うように人々は集落をつくり、暮らしています。

気候区分では、美山町は日本海型と太平洋型の移行帯に位置し、多雨多湿で年間平均気温 12,9℃、年間平均雨量は 1,509mm と比較的雨が多く、冬季(12月～2月末)には積雪量も多い地域です。

天候は、日本海側気候、多雨多湿で晴天の日が少なく、積雪も比較的多い地域です。

## 美山町 内久保地区のおはなし

蓮如上人より名を賜り、地域の代表的シンボルを「蓮如の滝」とする内久保地区。集落内を水路がいく筋も築かれ、民家や田畑をひと時も絶やさず、豊かに潤しています。

山手には、環境省のレッドデータブックで絶滅危惧Ⅱ類(VU)、京都府では、絶滅寸前種に指定されている「ベニバナヤマシャクヤク」の群生地があり、由良川の源流でもある美山川の緩やかな蛇行に内久保集落は守られているようです。

集落の中心部には、「紫摩城」と小字に名が残されているように、かつては湧水のある立派な屋敷があり、現在の美山町の礎にもなったとも伝わっています。

豊かな水に恵まれた内久保には、造酒屋や豆腐屋、醤油屋などが軒を連ね、「鯖街道」を行き交う行商人や旅人に潤いを与えていました。さらに沢水や川の水力を活かした、製材業も盛んでした。大正時代の早くから、地形の高低差を利用した「水力発電」を行い各戸に給電と有線放送を行っていました。当時は、ひと家庭 20w という限られた電力ですが、楽しい団欒が営まれたのでしょう。

この『いつも水のそばにある景観と集落の営み』をテーマに、みなさまを「内久保集落セルフガイド」に誘います。



## 探訪指南

### 1、危険な生き物や地形に注意

自然豊かな地域では、人にとって危険な生き物(ヤマビル、マムシ、スズメバチやブユ、ツタウルシ等)もたくさんくらしています。市販の医薬品や撃退スプレーなど対策を十分に行ってください。落石やがけ崩れなど危険な地形もありますので近づかないようにしてください。

### 2、天候の変化や日没時間に注意

山間部では、標高の高さ、地形の複雑さなどから目まぐるしく天候が変わります。荒天や気温の変化に備えてください。さらに山の影の影響もあり日没時間が早くなる場合もあります。

### 3、とっていいのは写真

森の生き物たちの隠れ家やすみかである、枝や草花、石や土などをとらないください。小さな自然の変化が、生き物たちのバランスをこわすこともあります。

### 4、ごみとトイレ

ごみは必ず持ち帰りください。景観を損ねるだけでなく、生き物たちの誤食や予期せぬエサ場になります。トイレ以外での用足しも危険が伴うばかりでなく、環境を荒らす結果になります。

### 5、コミュニケーションは楽しい

地域で暮らす人に話を聞いてみよう、特別な情報が手に入ることも。フィールド探訪は、新しい出会いや気づきがあって楽しいこと。準備を整えて、いざ出発!

# Self Guide Map

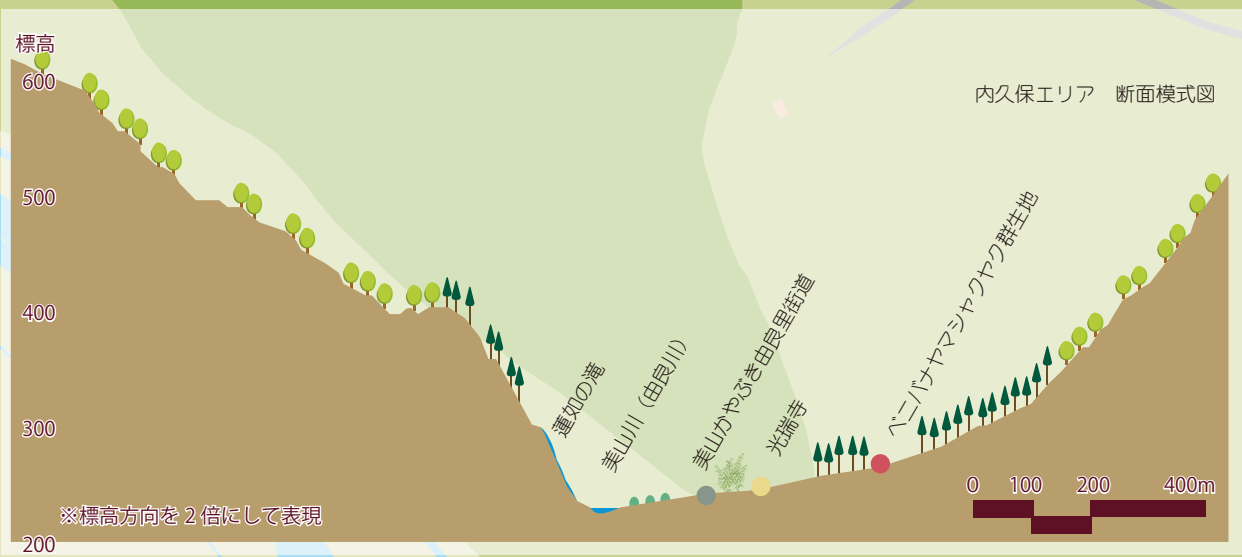
## セルフガイド マップ

### 水のある景色散歩

美山地域 内久保

「蓮如の滝」と沢と水路に囲まれた、水風景の美しい内久保集落を散歩するコース。

難易度	★☆☆☆☆(散歩程度)
所要時間	90分
距離	約1.5km
高低差	約17m



**Start** 水車しあわせ広場 水車小屋前 駐車場  
美山町で初めて水車を動力として精米した原田幸吉氏の功績を称え、再現された水車小屋。水をめぐる旅を象徴するスタート地点。

**①** 赤迫谷・井爪谷  
かつて家々の生活の水を担ってきました。現在は沢の上流から個々に生活用水を引いています。

**②** 西の鯖街道  
東西へと続く西の鯖街道。多くの旅人がこの地で癒され休息したことでしょう。かつてあった造酒屋や豆腐屋、製材所の音や香りを想像してみてください。

**③** 光瑞寺  
「蓮如の滝」の由来となった蓮如上人の像やススキの穂で書かれた肉筆の軸を所有する丹波中本山と言われた真宗大谷派のお寺です。

**④** 大内谷川  
内久保集落は、かつて大内村・上久保村との2村でした。その大内村を潤していた大内谷川です。上流には、ベニバナヤマシヤクヤクの群生地があります。

**⑤** 「紫摩城」(小字)とすずの池(湧水)  
小字名で残る「紫摩城」。今でも水の枯れない「すずの池(湧水)」があり、一帯を収めた長の邸宅があったといわれています。

**水力発電跡**  
地形の高低差を利用した落水式の水力タービン直流発電機を設置したかつての場所。コンクリート製の水路や基礎が今でも残っています。

**⑥** 蓮如の滝  
室町時代の浄土真宗蓮如上人が訪れ称賛された滝。かつては布滝と呼ばれていました。梅雨時や大雨が降るとより美しさを増す銘瀑です。

**⑦** 水道橋  
水が交差する「水道橋」。橋を渡る水と、谷川を流れる水。この二つの水の目的は、それぞれ橋を渡る水は農業用水、谷川を流れる水は生活用水です。

**Goal** 水車しあわせ広場 水車小屋前 駐車場  
水の景観めぐりは、いかがだったでしょうか。美しい水景に心洗われたのでは。